

設計上の注意

- 下地厚みが0.8mm未満の場合は、適用できません。ご注意ください。
- 下地厚みが、0.8mm～1.0mmの場合には、それぞれ下地補強（逆回転・フラットリング対策）が必要となります。
あわせて、下地強度に合わせたの固定ピッチ設定が必要となります。
- 補強鋼板は現場ごとの形状に合わせるため、全て特注鋼板となります。
- 軒先等より、防水層・断熱材裏面に風が吹き込まない様にしてください。
- 断熱材により水勾配が変わることで、雨どいへの雨水の流れ込みが変わる場合がありますので、ご注意ください。
- 金属下地に直接UD工法は施工できません。UD工法を選定する場合には、断熱材・木質系セメント等によりディスクが直接金属下地に接触しないようにしてください。
- 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法（後付け工法）を推奨いたします。

施工上の注意

- ルーフィング・断熱材の固定位置は下地の平滑部に留めつけてください。
- 絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨いたします。
- 下地厚みに関わらず逆回転防止のため、ロンシーラントによるビス頭の固定をお願いします。
- ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
- ディスク固定時に、逆回転で留め付けを調整しないでください。ビス抜けが発生し易くなります。
- US工法選定時には、断熱材の仮固定が必要となります。
- UD BOXはディスクの中心に合わせてご使用ください。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。（UD工法採用時）
- UD緩衝パッチとUD-1PVIは必ずセットでご使用ください。UD緩衝パッチを使用しないと、所定の強度が発揮できません。（UD工法採用時）



ロンシール工業株式会社

防 水 事 業 部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

防 水 営 業 部

東 京 営 業 所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

札 幌 営 業 所 〒060-0042 札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保 札幌大通ビル6F TEL.011-271-0411 FAX.011-271-0422

仙 台 営 業 所 〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号 TEL.022-301-8788 FAX.022-301-8767

北 関 東 営 業 所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号 TEL.048-664-1511 FAX.048-664-3431

横 浜 営 業 所 〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F TEL.045-662-7370 FAX.045-661-0860

大 阪 営 業 所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F TEL.06-6304-2704 FAX.06-6304-6948

名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F TEL.052-950-3200 FAX.052-950-3213

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F TEL.082-506-2500 FAX.082-506-2514

福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号 TEL.092-472-5857 FAX.092-473-6179

営業推進グループ 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

ロンプルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036 (代) FAX.03-5600-4037



お問い合わせ・お申し込みは

※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合もございます。
※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、各仕様書・要領書をご確認ください。
※記載重量は、梱包資材等を含まない正味重量です。
※当カタログの無断転載・複製を禁じます。

このカタログは印刷インキに大豆インキを使用しています。
大豆インキはVOC（揮発性有機化合物）の発生が少なく、地球環境の保全に貢献します。

2021年3月版

2021.2.S1.1.GG

LONSEAL WATER PROOFING SYSTEMS

金属下地屋根（瓦棒・折板等）断熱防水改修工法 SD-1 仕様

既存金属屋根への改修

既存金属下地
断熱防水層への改修

ロンシール

既存金属下地屋根の改修

環境対応型
仕様

露出

機械的
固定

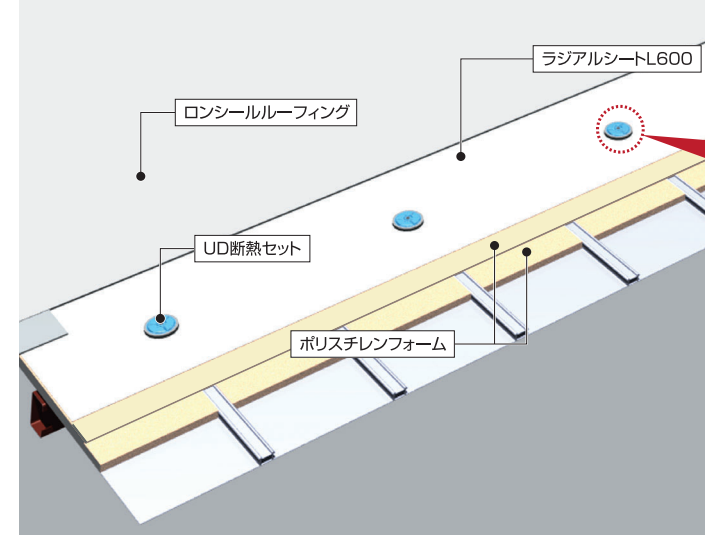
断熱

非歩行
点検程度の
歩行は可能

既存が金属下地であれば、ほとんどの屋根形状の改修に対応します。改修と同時に断熱性能を付与しますので、省エネルギー、室内環境改善の点からも最適な仕様です。

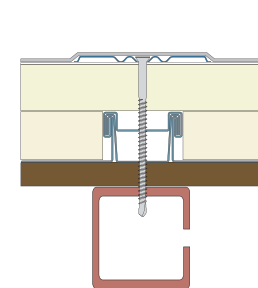
●既存下地が瓦棒屋根の場合

瓦棒下地をSD-1 UD(225D UD)で改修したイメージ図です。

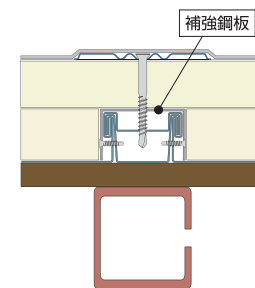


風による固定ビス抜け防止のため、ディスクは母屋に固定するか、下地補強をした上に固定してください。

【母屋に固定する場合】

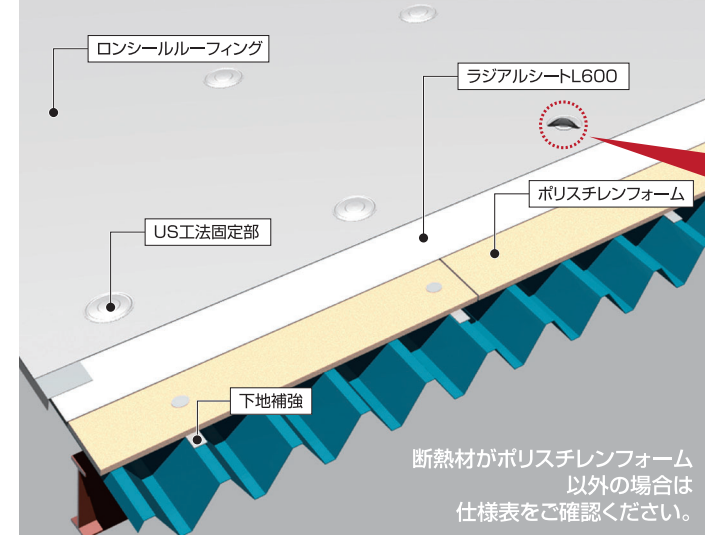


【下地補強の場合(例)】



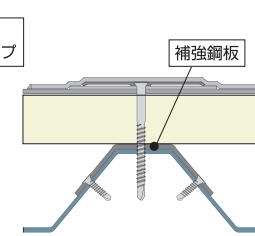
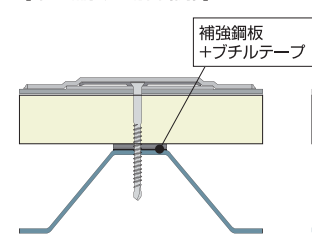
●既存下地が折板屋根の場合

折板下地をSD-1 US(225D US)で改修したイメージ図です。



風による固定ビス抜け防止のため、折板厚みが1.0mm以下の場合は、下地補強が必要です。

【下地補強の場合(例)】



金属瓦棒の屋根

金属瓦棒屋根でも、外断熱工法でグレードアップ

改修前



改修後



金属折板の屋根

金属折板屋根でも外断熱工法でグレードアップして、防水機能を復活させることができます。

改修前

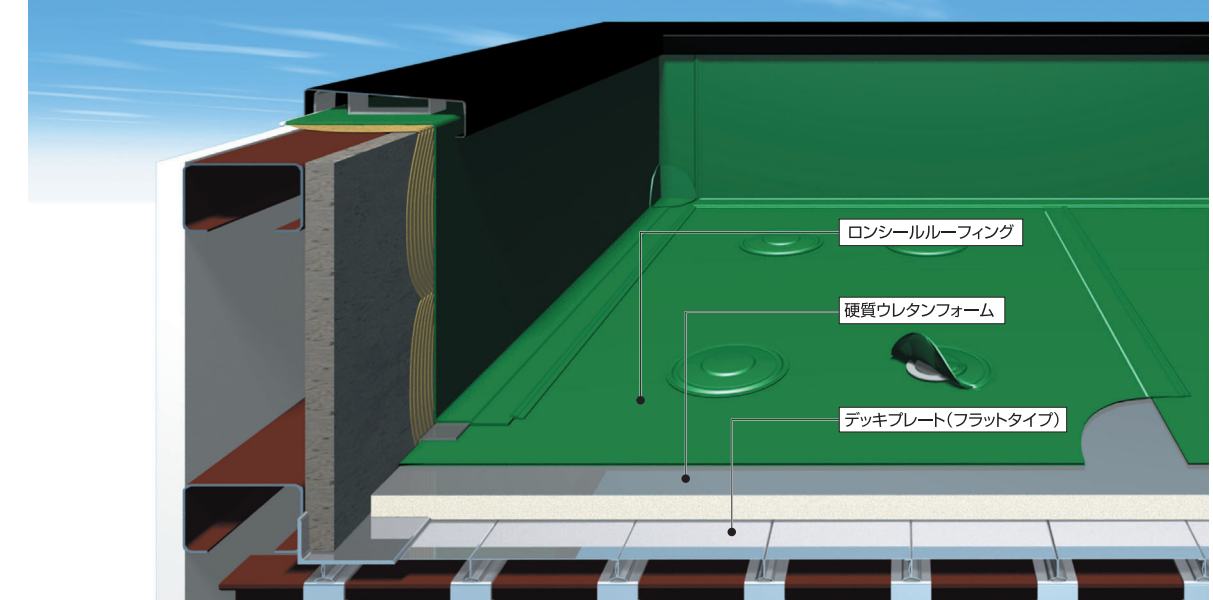


改修後



●既存下地がデッキプレート(フラットタイプ)の場合

デッキプレート(フラットタイプ)下地をSD-1 US(227D US)で改修したイメージ図です。



■機械的固定・断熱工法で改修する場合(225D・227D・222D仕様)

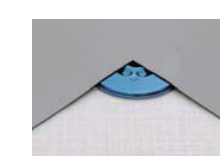
	US工法(固定ディスク後打ち)	UD工法(固定ディスク先打ち)
下地処理	(下地状況により)下地補強・防錆処理	
断熱材敷設	ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、ネオマフォームHB	
絶縁緩衝シート敷設	ラジアルシートL600、ラジアルシートA* ※断熱材にポリスチレンフォーム採用時のみ使用	
ディスク固定	(断熱材仮固定) BP-H1N、セルフドリルビス使用	UD断熱セット(UD緩衝パッチ、UD-1PV) セルフドリルビス、ロンシーラント付け
ルーフィング敷設・接合	ロンシー ルーフィング(P.5) 溶剤溶着 熱風溶着 ブルーシーラー	
機械的固定・固定部補強	補強用セット、BP-H1N、 セルフドリルビス、ロンシーラント付け	誘導加熱 (UD BOX、UDガイド、UD圧着治具)
端部処理	ブルーアングル・アルミ笠木・BP鋼板・ロンシーラント	

US工法(固定ディスク後打ち)の特長



ルーフィングの上から固定鋼板をビスで留め付け、躯体とルーフィングを強力に固定します。
耐風圧性能に非常に信頼がおけ、高層階や沿岸の建物に適しています。

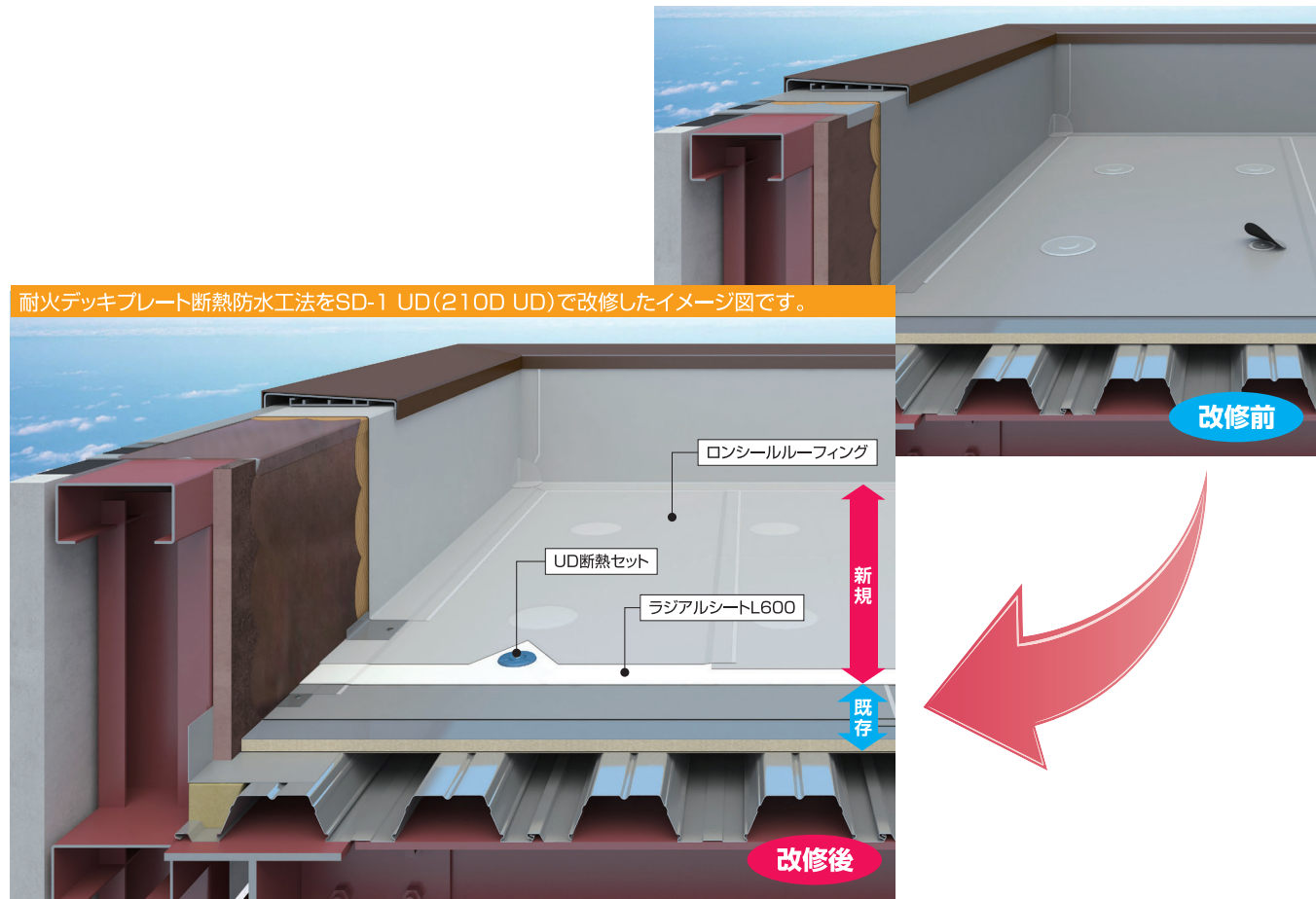
UD工法(固定ディスク先打ち)の特長



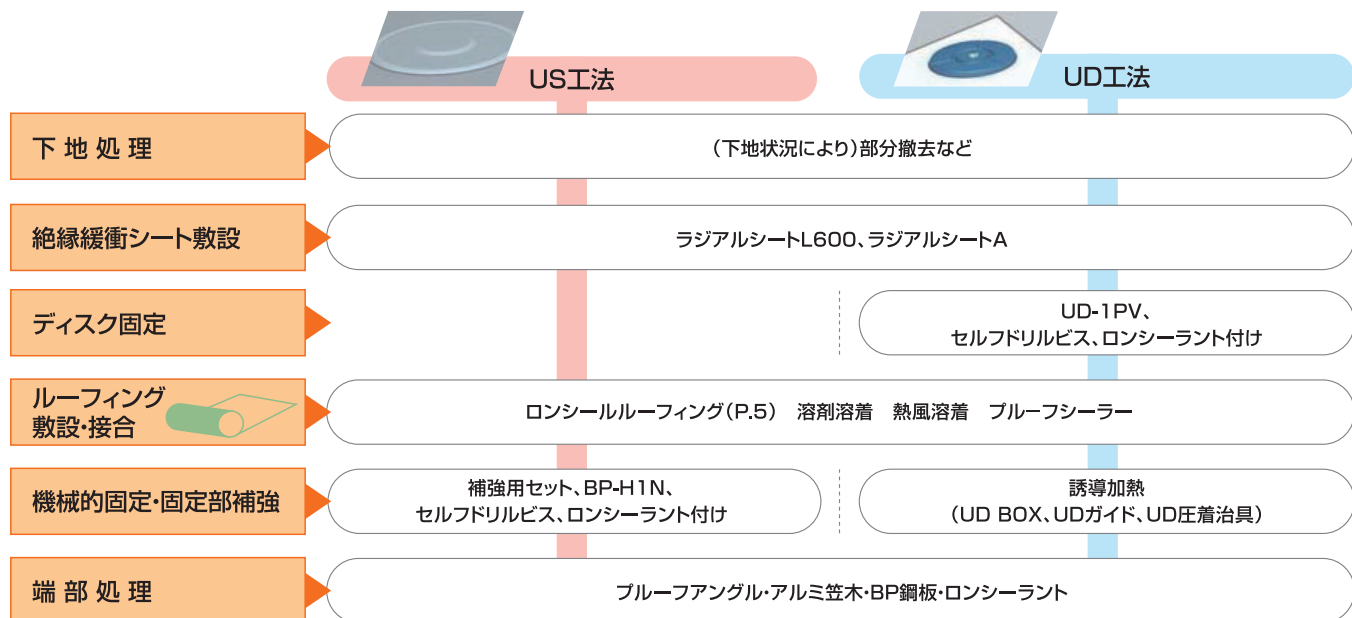
ディスクを断熱シートの上に固定し、ルーフィングの上から誘導加熱装置「UD BOX」で接合します。
完成後の意匠性にすぐれます。

既存金属下地・断熱防水工法の改修

大型ショッピングモール、物流倉庫、工場に多い断熱防水層が施工された金属下地屋根の上から防水シートをかぶせて、改修が可能です。



■機械的固定工法(非断熱)で改修する場合(210D仕様)

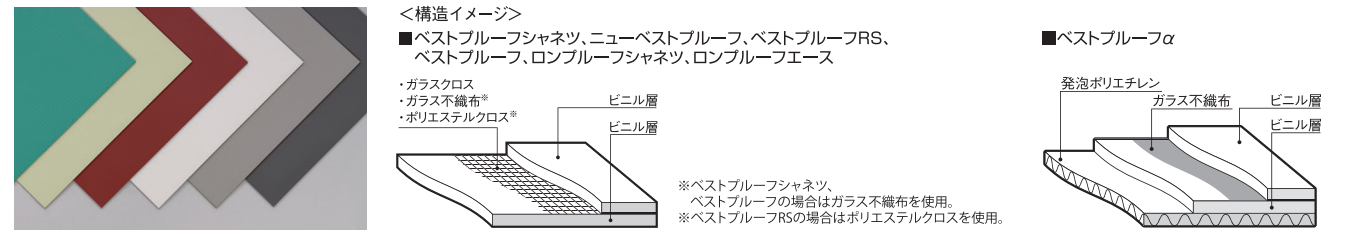


※機械的固定・断熱工法での改修にも対応します。※接着改修工法を選択する場合は単体カタログ「ベストブループラス接着改修工法パンフレット」をご参照ください。

主要資材

下記以外の資材につきましては、「シート防水システムカタログ」をご参照ください。製品の梱包・形状は、予告なく変更となる場合があります。

■ルーフィング(防水シート) JIS A 6008認証品(ベストブルーαを除く)



ベストブルーシャネツ	US工法	UD工法
日射反射率最大約70%と高い遮熱性能を発揮する高耐久シートです。 ※グリーン購入法適合品	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ1.5mm/幅1,230mm×10m巻 ■重 量 1.9kg/㎡、24kg/巻	■色 数 2色
ニューベストブルー	US工法	UD工法
冬期でも良好な施工性を発揮する柔軟なシートです。	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ1.5mm/幅1,200mm×10m巻 ■重 量 2.0kg/㎡、24kg/巻	■色 数 6色
ベストブルーRS	US工法	UD工法
補強複合タイプの特徴でもある引き裂きに強いシートです。	■素 材 補強複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ1.5mm/幅1,200mm×10m巻 ■重 量 2.0kg/㎡、24kg/巻	■色 数 2色
ベストブルー	US工法	UD工法
不織布を中間積層した寸法安定性にすぐれるシートです。	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ1.5mm/幅1,230mm×10m巻 ■重 量 1.9kg/㎡、24kg/巻	■色 数 5色
ベストブルー ^{アルファ} α	US工法	
ベストブルーを絶縁シートと一体化した省力化対応の防水シートです。	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系準拠 ■規 格 厚さ1.5mm/幅1,230mm×15m巻 (貼合発泡ポリエチレン厚さ2.0mm) ■重 量 2.0kg/㎡、37kg/巻	■色 数 5色
ロンブルーシャネツ	US工法	UD工法
厚さ2.0mmで遮熱性能を発揮する防水シートです。 ※グリーン購入法適合品	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ2.0mm/幅1,200mm×10m巻 ■重 量 2.6kg/㎡、31kg/巻	■色 数 2色
ロンブルーフェース	US工法	UD工法
厚さ2.0mmタイプの汎用性にすぐれる防水シートです。 厚さ2.5mmも対応可能です。(受注生産品)	■素 材 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系 ■規 格 厚さ2.0mm/幅1,200mm×10m巻 ■重 量 2.6kg/㎡、31kg/巻	■色 数 6色

■断熱材(ノンフロム対応品) 熱伝導率は、JIS A 9521:2017に基づいて表記しています。

ポリスチレンフォーム (カネライトフォームスーパーE-Ⅲ・スタイロエースⅡ)

■素 材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA
■規 格 XPS3bA F☆☆☆☆
厚さ25・30・35・40・45・50mm/
910mm×1,820mm
■熱伝導率 0.028W/m・K以下
※使用時には、別途断熱緩衝シートが必要となります。



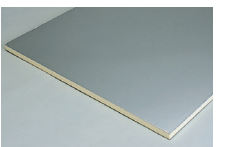
ネオマフォームHB

■素 材 フェノールフォーム断熱材1種2号CII
PF1.2CII F☆☆☆☆
■規 格 厚さ35・40・50mm/
910mm×1,800mm
■熱伝導率 0.020W/m・K以下
※受注生産品(納期約4週間)



硬質ウレタンフォーム (アキレスボードWAL-D・クランボード)

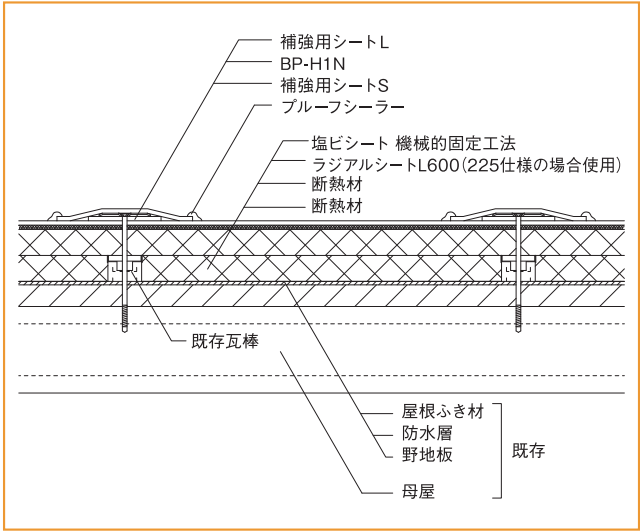
■素 材 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号A
PUF2.2A F☆☆☆☆、又は準拠
■規 格 【アキレスボードWAL-D】
厚さ25・30・35・40・45・50mm/
1,000mm×1,800mm
【クランボード】
厚さ25・30・35・40・50mm/
910mm×1,820mm
■熱伝導率 0.024W/m・K以下
※受注生産品(納期約3週間)



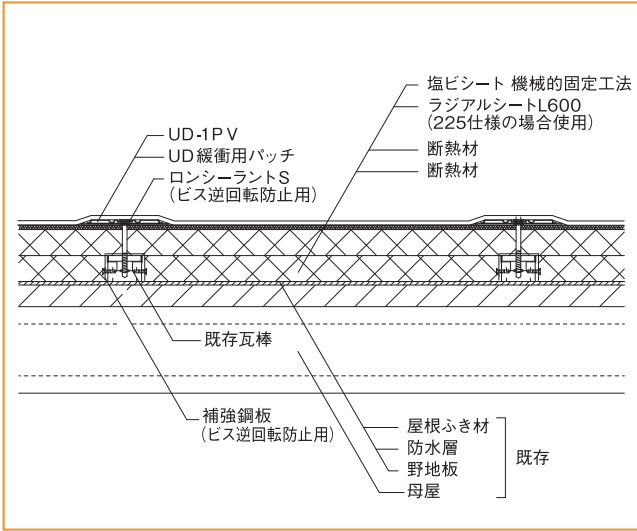
※各断熱材の厚みは踏み抜けを考慮して選択してください。(推奨35mm以上)

納まり図例

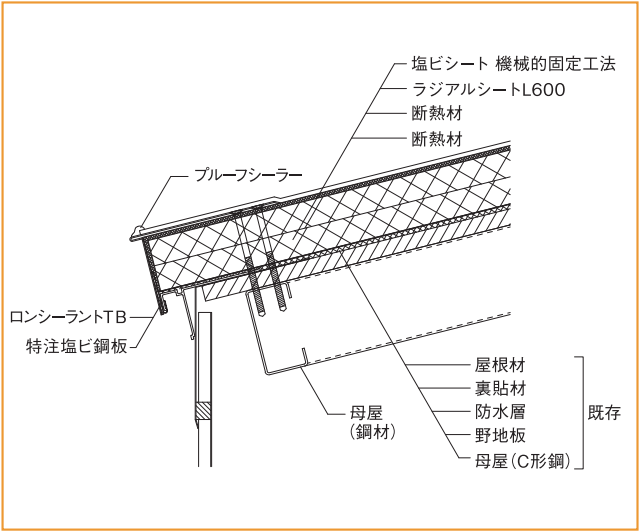
瓦棒下地(平場) US 工法・母屋固定



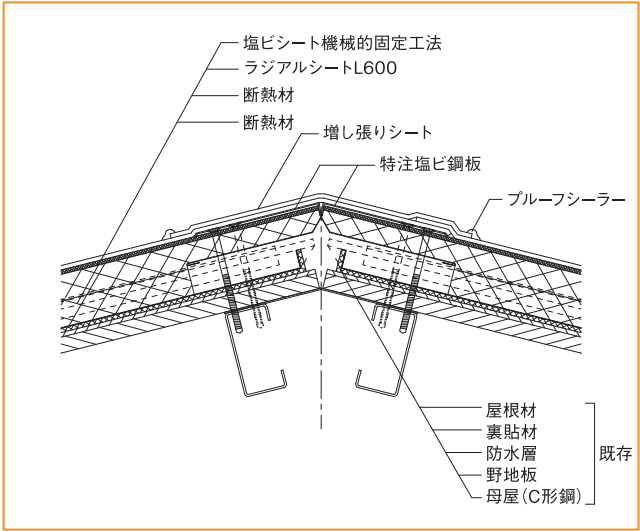
瓦棒下地(平場) UD 工法・補強鋼板固定



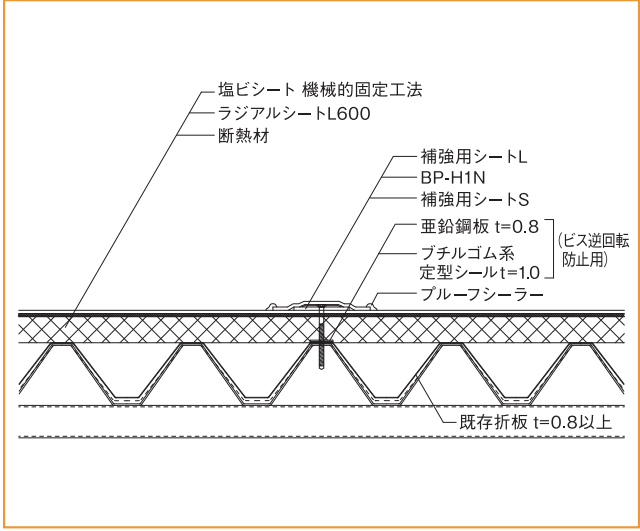
瓦棒下地(軒先)



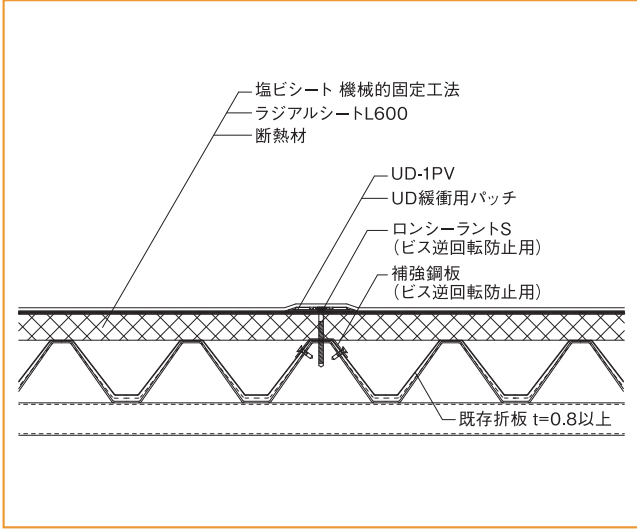
瓦棒下地(棟部)



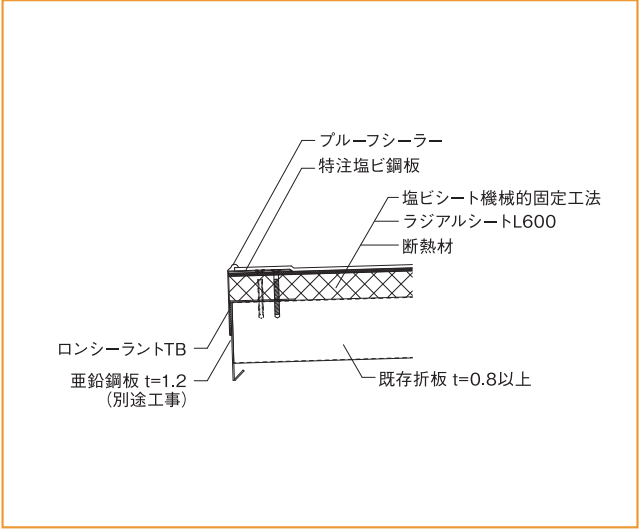
折板下地(平場) US 工法・母屋固定



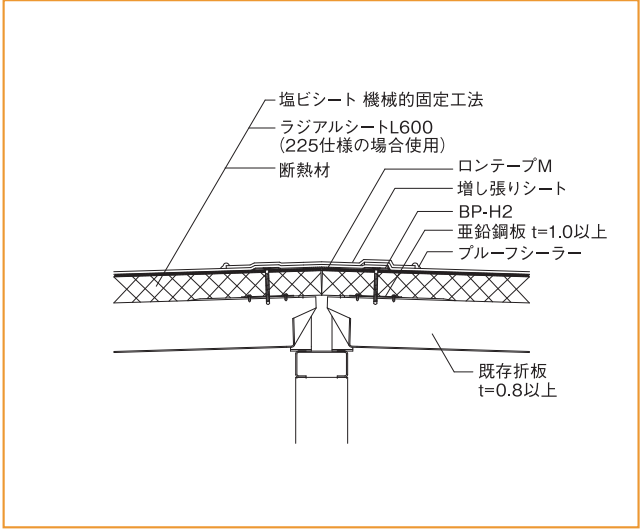
折板下地(平場) UD 工法・補強鋼板固定



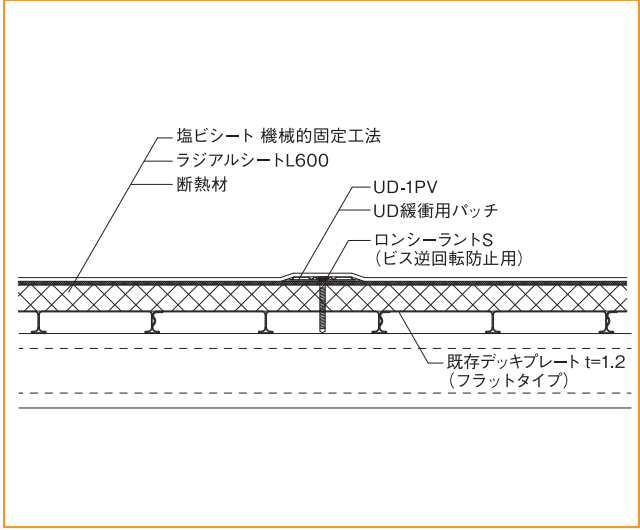
折板下地(軒先)



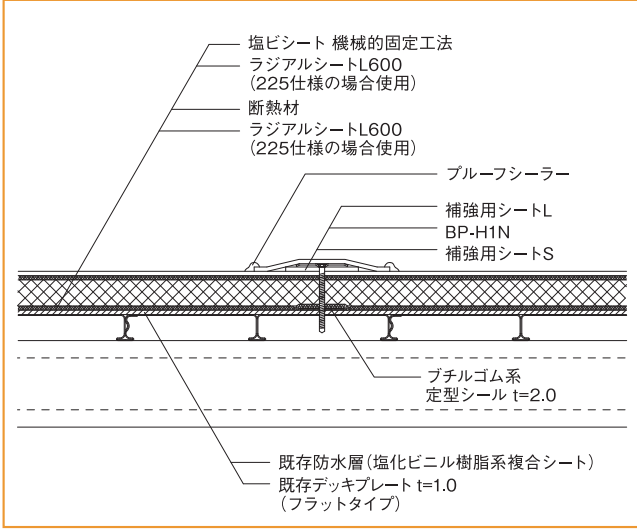
折板下地(棟部)



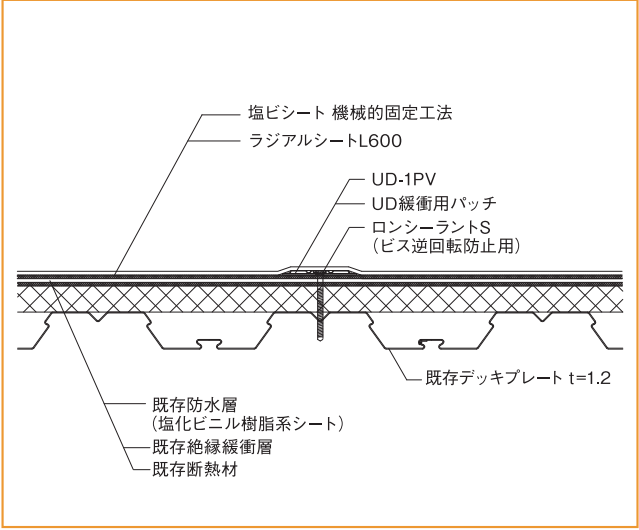
デッキプレート下地(フラットタイプ)



デッキプレート下地(フラットタイプ)



金属下地断熱シート防水工法の改修(平場)



金属下地断熱シート防水工法の改修(入隅部)

